

中部運輸局交通政策部

令和6年3月18日

連絡先

中部運輸局 交通政策部交通企画課

勝山、宇佐美、川口 TEL:052-952-8006

**「公共交通ってイネ！」中高生フォトコンテスト
入賞作品発表及びカメラ部門表彰式の実施について**

中部運輸局では、愛知県・静岡県・岐阜県・三重県・福井県在住の中学生・高校生を対象としたフォトコンテスト「公共交通ってイネ！」を、令和5年11月15日～令和6年1月29日までの間、開催したところ、多くの皆様からご応募をいただきました。ありがとうございました。

審査委員による厳正な審査を実施し、下記及び別添のとおり入賞作品を決定しました。入賞した作品については、今後、中部運輸局ホームページ、X（旧Twitter）、ポスター等で活用していきます。

また、**カメラ部門においては、令和6年3月26日(火)14時～中部運輸局11階運輸大会議室において、表彰式(富永審査委員長出席予定)を実施致します。**

記

1. 応募総数
199作品（カメラ部門：121作品、スマホ部門78作品）
2. 応募者数 ※重複応募可能なため、合計は一致しません
132名（カメラ部門：78名、スマホ部門60名）
3. 入賞作品



カメラ部門

大賞

「思い出の列車」 林夢人さん

優秀賞

「無事かえる」 服部真侑さん

鉄道賞

「思い出をのせて」 高橋惇文さん

バス賞

「まだかな～？」 山本知佳さん

タクシー賞

「夜の足」 一柳佳優さん

旅客船賞

「しおさい海道を結ぶ」 高瀬凜香さん

審査委員特別賞

「Journey」 齋藤飛鳥さん



スマホ部門

大賞

「心強い我らの岐阜バス」 三浦裕門さん

優秀賞

「ねじり橋を駆けるヴィアティントレイン」
伊藤颯馬さん

鉄道賞

「夏の夕日に照らされて」 山原琉さん

バス賞

「青空とバス」 山本乃唯さん

タクシー賞

「コンフォート（安心感）」 礼菜さん

旅客船賞

「島の生命線」 木村悠さん



—— 大賞 ——

「思い出の列車」 林夢人さん（岐阜県 高校1年生）

公共交通機関名：長良川鉄道



—— 優秀賞 ——

「無事かえる」 服部真侑さん（岐阜県 高校1年生）

公共交通機関名：名阪近鉄バス



鉄道賞

「思い出をのせて」 高橋惇文さん
(愛知県 中学3年生)
公共交通機関名：名古屋鉄道



バス賞

「まだかな〜？」 山本知佳さん
(福井県 高校3年生)
公共交通機関名：越前町コミュニティバス



タクシー賞

「夜の足」 一柳佳優さん
(愛知県 高校2年生)
公共交通機関名：タクシー複数社



旅客船賞

「しおさい海道を結ぶ」 高瀬凜香さん
(愛知県 高校2年生)
公共交通機関名：伊勢湾フェリー



審査委員特別賞

「Journey」 齋藤飛鳥さん
(福井県 高校2年生)
公共交通機関名：JR東海



— 大賞 —

「心強い我らの岐阜バス」 三浦裕門さん (岐阜県 高校1年生)
公共交通機関名：岐阜バス



— 優秀賞 —

「ねじり橋を駆けるヴィアティントレイン」 伊藤颯馬さん
(三重県 高校1年生)

公共交通機関名：三岐鉄道



—— 鉄道賞 ——

「夏の夕日に照らされて」 山原琉さん
(三重県 高校1年生)
公共交通機関名：近畿日本鉄道



—— バス賞 ——

「青空とバス」 山本乃唯さん
(三重県 中学1年生)
公共交通機関名：三重交通



—— タクシー賞 ——

「コンフォート（安心感）」 礼菜さん
(静岡県 高校2年生)
公共交通機関名：アサヒ交通



—— 旅客船賞 ——

「島の生命線」 木村悠さん
(静岡県 中学3年生)
公共交通機関名：富士急マリンリゾート

審査委員長 写真家 富永 聡 氏 総評

ご参加の皆さま、カメラ部門、スマホ部門とも多数のご応募ありがとうございました！

公共交通という日頃から乗ったり見たりする身近な乗り物に今回フォーカスすることにより、公共交通を見直してみようとのコンセプトでした。

中学生、高校生に限定することで、社会人とは違った視点を見ることが出来るのではないかと…。その興味もありました。

今回ご応募いただいた作品には、その思い以上のものが多数ありました。コメントにも、運転手の方への感謝の言葉があったりしました。その温かい言葉に審査会場が優しく包まれました。そして、中学生、高校生の視点の鋭さには審査員一同驚きを禁じ得ませんでした。

今回のフォトコンテスト開催にあたり各方面、各所から多大なお力添えをいただきました。この場をお借りして感謝いたします。そして、ご応募いただいた学生の皆さん！公共交通への想いをこれからも持ちつつ、良き写真を沢山撮っていただきたいと思います。



【写真家 富永聡氏プロフィール】

鳥取県生まれ、愛知で育つ。

5歳の頃に写真家の植田正治氏に出会い写真を学ぶ。スタジオ撮影、Jリーグ等のスポーツ写真の撮影、北日本新聞社文化センターにて講師を勤める。北陸中日新聞社で風景写真&コラムを連載。Jリーグオフィシャルカメラマン。キャノンEOS学園講師。日本写真協会（PSJ）会員。日本写真家協会（JPS）会員。「美と物語性」をテーマとした作品づくりに取り組む。

カメラ部門 審査委員長 写真家 富永 聡 氏 講評

全体的に撮影のスキルがとても高いと感じました。視点も多岐にわたっており、楽しく審査させていただきました。また、皆さんの撮影に対する強い思いを感じる審査になりました。



大賞「思い出の列車」は、老夫婦の想いを写し込んでいます。見る人によって色々な見方ができ、心和む一枚になっています。切り取り方も良かったです。



優秀賞「無事かえる」は、バスに乗り込む姿と無事かえるののぼりを絶妙に入れてしています。公共交通は安全が1番！通学のタイミングを狙ったのも良かったです。



鉄道賞「思い出をのせて」は、改札口のトンネル構図の中に赤い列車を上手く入れています。撮影者が中学生であることにも驚きました。



バス賞「まだかな〜？」は、赤い傘の親子がほのぼのとしています。お子さん2人が左右を見ている姿も絶妙なタイミングでした。



タクシー賞「夜の足」は、駅に集まるタクシーを広く撮ったのがまとまっていて良かったと思います。



旅客船賞「しおさい海道を結ぶ」は、フェリーから解き放たれたバイクの瞬間をよく撮影しています。



審査委員特別賞「Journey」は、「公共交通ってイネ！」の趣旨からは乗り物としての状況が弱いと感じましたが、撮影のスキルは大変高く、とても良い場面です。一般のフォトコンテストなら更に上位を狙えると思ったことから、特別に賞を設けました。



大賞「心強い我らの岐阜バス」は、雪の中を走る力強いバスの構図と、お寺の門構えや木々の背景の配置が良いです。バスの運転手さんに対する思いが現れた題名も素敵に思いました。スマホ部門では審査員一同文句なしに大賞にふさわしい作品でした。



優秀賞「ねじり橋を駆けるヴィアティントレイン」は、有名な橋で待ちながらスマホを握っている姿が見えてくるようでした。電車と橋を上手いタイミングで捉えています。



鉄道賞「夏の夕日に照らされて」は、夕日の斜光線の中、駅員さんの後ろ姿と電車のタイミング、そして縦位置での低いアングルと、よく考えて撮影されていると思います。



バス賞「青空とバス」は、橋を渡るバスの位置がかなり低く、青空のグラデーションが綺麗に入っており、気持ちの良い場面になっています。中学1年生の作品とは驚きました。



タクシー賞「コンフォート(安心感)」は、昔ながらの車両を夜なのに明るく撮影されています。ビルの入れ方が安定感のある構図になっており、安心感に繋がっています。



旅客船賞「島の生命線」は、題名がこの船の重要性を物語っており、停泊船に島の人々の生活を想像させてくれます。中学生の作品として、題名の付け方が秀逸だと思います。

スマホは手軽に撮影できるのが利点ですが、作品は良く考えて撮られていると感じました。これからも良き瞬間をたくさん撮影してください。